



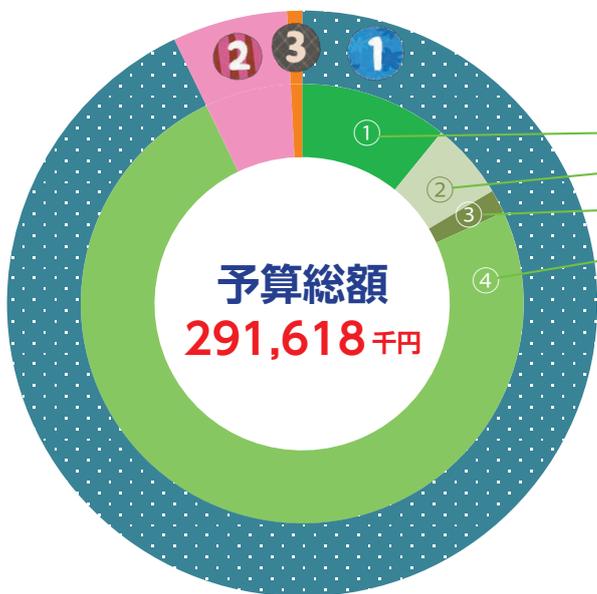
■公益財団法人 長崎平和推進協会 〒852-8117 長崎市平野町7番8号 ■電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961  
<http://www.peace-wing-n.or.jp>

- 平成 28 年度の予算と事業計画
- 第 6 期生平和案内人育成講座終了
- 継承部会による「碑めぐり」開催
- アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム
- 姜尚中氏講演会
- TOPICS! (ホームページがリニューアル ほか)
- 朗読ボランティア「永遠とわの会」
- 被爆体験伝承者との交流
- アジア青年平和交流事業



「アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム」の様子  
(2016年2月6日 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 交流ラウンジ)

長崎平和推進協会の事業には、①公益目的事業、②収益事業、③法人会計の3つの会計があります。



**1 公益目的事業会計 270,723 千円**

- ①平和推進事業 (30,518 千円)
- ②長崎原爆資料館運営事業 (16,771 千円)
- ③長崎原爆資料館図書資料収集整理事業 (5,172 千円)
- ④国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業 (218,262 千円)

**2 収益事業会計 18,549 千円**

原爆資料館の図書販売コーナーで平和関係の図書やグッズを販売する事業のための会計で、収益の一部は平和推進事業に繰り入れてさまざまな事業に使っています。

**3 法人会計 2,346 千円**

当協会全体の管理・運営に必要な経費を扱う会計です。

皆さまからいただいている**会費**や**寄付金**で活動を行っているのは、「平和推進事業会計」「法人会計」です。  
この2つの会計の平成28年度の収入、支出は次のとおりです。



【収入】 (単位：千円)

科目	平和推進事業会計	法人会計	計
基本財産運用収入	10	0	10
会費収入	3,445	1,107	4,552
特定資産運用収入	1	0	1
補助金収入	25,861	1,239	27,100
寄付金収入	600	0	600
雑収入	1	0	1
他会計振替額 (*1)	600	0	600
合計	30,518	2,346	32,864

【支出】 (単位：千円)

科目	平和推進事業会計	法人会計	計
事業費	30,518		30,518
発刊事業費	1,270		1,270
啓発事業費	1,223		1,223
調査研究費	100		100
育成事業費	5,764		5,764
人件費	19,547		19,547
その他事務費	2,614		2,614
管理費		2,346	2,346
人件費		1,239	1,239
その他管理費		1,107	1,107
合計	30,518	2,346	32,864

\*1 他会計振替額…収益事業（原爆資料館の図書販売コーナーでの売上）からの繰入金

当協会の大部分を占めている **① 公益目的事業**とは、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する事業をいいます。

平成 28 年度も **核兵器廃絶と世界恒久平和**の実現を目指し、次のとおり被爆体験や原爆被害の実相を伝える色々な事業を行います！



## ① 平和推進事業

### 発刊事業

**会報の発行** 年 4 回、協会活動の情報発信のため会報「へいわ」を発行

**ブックレットの発行** 年 1 回、協会の事業概要をまとめた「平和のあゆみ」を発行

**広報活動費** 情報 BOX、会員勧誘リーフレットの作製

### 啓発事業

**平和学習の実施** 被爆体験講話者の派遣、平和学習用の DVD・写真パネルの貸出など

**講演会等の開催** 平和問題への認識を深める講演会等の開催

**国連軍縮週間行事** 市民の平和意識を高めるためのイベント「市民のつどい」の開催

**調査研究事業** 平和・軍縮関係の国際会議やシンポジウムへの参加

### 育成事業

**部会活動** 継承部会、写真資料調査部会、国際交流部会、音楽部会の各活動への支援

**アジア青年平和交流事業** 日本とアジア諸国の若者との意見交換・相互理解を目指して、市内の大学等に事業を委託

**平和事業への支援** 協会の活動趣旨と一致する事業などへの助成

**秋月グラント** 被爆体験の継承や平和意識高揚のための事業を実施する団体等への助成

**平和案内人派遣事業** 長崎原爆資料館、追悼平和祈念館等の案内や碑めぐりを行う平和案内人の派遣



被爆体験講話者の派遣



「市民のつどい」



ナガサキ原爆写真展



平和案内人碑めぐりガイド

## ② 長崎原爆資料館運営事業

長崎原爆資料館の観覧料徴収や総合案内を行う業務を長崎市から受託しています。

## ③ 長崎原爆資料館図書資料収集整理事業

長崎原爆資料館内の図書室での原爆や平和推進に関する様々な書籍の取り扱い、資料の収集、整理を行う業務を長崎市から受託しています。

## ④ 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の管理・運営を国から受託しています。また、次のとおり当協会とのかかわりの深い様々な事業を行っています。

**被爆者証言映像制作** 被爆者の証言や体験講話を収録、映像化

**被爆関連資料多言語化** 収集した被爆体験記や被爆証言映像の翻訳、吹替え映像の制作、海外への発信

**海外原爆展** 原爆のことを知る機会の少ない海外の人たちに向けて、現地で原爆展を開催

**ピースネット** 遠隔地の学校等を対象にインターネット会議システムを用いて被爆体験講話を実施

**被爆体験記朗読ボランティア育成・派遣** 被爆の実相を体験記朗読で語り継ぐボランティアの育成と派遣

**平和ボランティア育成外国語講座** 被爆の実相を世界に広げるため、外国語で案内をするボランティアの育成

**アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム** 海外の学生らと平和ネットワーク作りを推進

**長崎国際平和映画フォーラム** 国内外の原爆や平和に関する映画の上映や平和のプログラムを実施

## 第6期生 平和案内人

### 全15回の育成講座が終了

被爆70周年記念事業として実施した「第6期生平和案内人育成講座（全15回）」が終了しました。今回は、32人の方からご応募いただき、修了要件を満たした30人の受講生に対し、3月8日の修了式にて横瀬理事長から修了証書を渡しました。

育成講座では、平和案内人を講師として長崎原爆資料館や平和公園周辺等を巡るガイド実習や、被爆者や専門家による講義を行いました。受講生は

長崎における被爆の実相を学ぶとともに、ガイドに必要な原爆や核兵器に関する知識を深めました。



### 第6期生平和案内人育成講座の主な内容

講座内容	講師（敬称略）
被爆体験講話	末永浩（継承部会長） 山脇佳朗（継承部会員）
長崎原爆資料館の概要・長崎市の平和行政	長崎原爆資料館職員
原子爆弾の原理と破壊力	岡林隆敏（長崎大学名誉教授）
現代の核問題	鈴木達治郎（RECNA センター長）
写真で見る原爆投下時の長崎	深堀好敏（写真資料調査部会長）
先輩案内人からのアドバイス	吉田祐子（平和案内人）
原爆と報道	本田貞勝（広報委員長）
原爆直後の救護活動と調査	三根真理子（財務組織委員長）

### 5月から活動開始！

第6期生平和案内人は、育成講座終了後、2ヶ月の自主研修期間を経て、5月から活動を開始します。



平和案内人派遣事業は開始から12年目を迎え、平和の尊さを次の世代に伝える役割の必要性をますます感じております。被爆地長崎を訪れた方々と一緒に巡りながら、核兵器の恐ろしさ、平和の大切さを伝えていきます。

### 平和案内人と一緒に歩きませんか？

平和案内人が原爆資料館や追悼平和祈念館、平和公園周辺をご案内します。予約ガイドを希望される場合は、ホームページよりお申し込みください。



### 料金変更のお知らせ

平成28年度より、ガイドの集合場所までの交通費として負担していただく料金を変更します。

【改定前】1,000円（平和案内人1人あたり）



【改定後】1,500円

### 受講生の声

- 原爆について今まで知らなかったことや、間違っていたことを含めさまざまな角度から、より深くきめ細かに学ぶことができ、研修を受けて本当に良かったと思います。核兵器は絶対になくしていかなければいけないことを1人でも多くの方に感じていただけるように、これからも学びたいと思います。
- 被爆の実相を知り、死没者を追悼し、それから周囲の被爆遺構を巡りながら多くの人たちと原爆の悲惨さ、戦争の愚かさ、平和の大切さ、そして未来への期待などを語り合いたい。長崎市民として私は微力ながら長崎の恒久平和の願いを発信すべく平和案内人として頑張りたいと思っている。

## 被爆の継承

被爆者が高齢化している中、  
のなか…  
のような活動に取り組んでいます。

撮影：林 重男氏 提供：長崎原爆資料館



被爆70年を超え、被爆  
被爆の継承をどうするの  
長崎平和推進協会はこの

## 新たな取り組みを始めます！

平成26年度から活動を開始している追悼平和祈念館の被爆体験記朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ 永遠の会」では、現在4つのチームをつくり、それぞれ積極的に活動しています。

そのうち、祈念館常駐朗読チームは、活動のさらなる充実をはかるため、平成28年4月から活動日を土曜・日曜日に増やし、さらに来館者の多い時期には週5日追悼平和祈念館内で朗読を実施する計画を立てています。

また、原爆資料館いこいの広場で、毎月9日の11時2分に、朗読会「9日を忘れない」を開催いたします。多くの方に朗読を通じて、少しでも被爆の実相を知ってもらえればと思っています。



## 朗読ボランティア「永遠の会」

## 市民約60人が参加！

3月13日、継承部会原爆遺跡研修班が主催する「市民対象碑めぐり」が開催されました。年に2回行われるこの碑めぐりは、継承部会員（被爆者）自らが被爆地を案内するもので、今回は小学生も参加し、幅広い年齢の方々と共に被爆遺跡を巡りました。

今回は、まず山里小学校の児童記念館で、貴重な当時の写真を交えながら原爆被害の実相や山里小学校の歴史について、常駐ボランティアの方からお話をうかがいました。続いて、山里小学校周辺を見学しながら当時の状況や被爆体験を聞いたほか、爆風や熱線の被害を受けたベアトス様の墓、大橋周辺を巡りました。

その場所に立って継承部会員から話を聞くと、今の状況からは想像もできない70年前の情景が蘇るようでした。参加者からは「伝えること、語るこの大切さ、命の儚さなど色々知ることができた」「このようなことに参加するのは大事だと思った」などの感想が発表されました。



## 継承部会による「碑めぐり」開催

## 広島での継承とは・・・

2月12・13日、広島市から高齢化が進む被爆者に代わって体験を語る「被爆体験伝承者」として活動している細光規江さん、保田麻友さんをお招きし、継承部会・平和案内人・被爆体験記朗読ボランティアとの交流会を開催しました。

被爆体験伝承講話の後に行った意見交換では、なぜ伝承者になろうと思ったのか、どのような研修を行ったのか、伝承者として今後伝えていきたいと思うことなど、参加者からたくさん質問が出された他、長崎のそれぞれの活動紹介も行いました。

今回初めて被爆体験伝承講話を聞く参加者も多く、「被爆者と継承者、双方の熱意と密接な交流が必要だと感じた」「原稿をまとめる重要性を感じた。自分たちの個性も生かせると思った」などの感想も聞かれました。広島での活動を知ったことで、長崎での継承問題について考える有意義な時間となったようです。



## 被爆体験伝承者との交流

2月4日から10日にかけて、追悼平和祈念館で「アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム」を実施しました。これは、マレーシア、韓国、中国から招いた学生達が被爆の実相を学びつつ、長崎の若者との交流を通じて自分達が平和のために何ができるのかを考えるもので、今回は、先生方を含め計18人が長崎を訪れました。

期間中、原爆資料館を見学したり、被爆者の体験講話を聞いたりして学び、さらに、当協会のアジア青年平和交流事業の認定事業である活水高等学校平和学習部「ふりそでプロジェクト」のメンバーと交流を行いました。

# アジアの若者による 平和ネットワーク構築プログラム

平和な世界を実現するためにアジアの若者として何をすべきか…

初めての日本訪問でした。日本は、技術やインフラの面において世界で最も発展している国なので、子供の時から訪問するのが夢でした。それにとっても安全で、水道水もきれいでした。

今回のプログラムでは、被爆者の原田美智子さんのお話や活水高等学校の「ふりそでの少女」についての発表を聞きましたが、原爆をとっても恐ろしく感じ、涙が出るほど悲しかったです。また、平和の泉に刻んである山口幸子さんの言葉が印象的でした。

私は、新たな犠牲者が出る前にすべての核兵器をなくす必要があると思います。それから、中国、韓国などいろいろな国の友達ができ、とても楽しかったです。多くの経験や知識も得ることができました。このプログラムに参加する機会を与えてくれた追悼平和祈念館と平和推進協会に感謝いたします。



マレーシア・マラヤ大学 Syuairoh binti Ismail さん

今回、活水高等学校平和学習部「ふりそでプロジェクト」メンバーとして参加いたしました。プログラムを通して2つのことが印象に残りました。1つ目は、外国の学生と協力して行った、絵本「ふりそでの少女」翻訳作業です。初めての試みで完成するか不安でしたが、どのグループも活発にコミュニケーションをとり4カ国語に翻訳できました。絵本を通してともに平和について考え、多言語化して絵本を世界に広めるという目標が達成できました。2つ目はプレゼンテーションです。特に、中国の学生の発表は戦争当時の日本の加害面（今問題になっている南京大虐殺）について触れていましたが、結論は未来志向のものでした。私は過去の過ちに目を背けず、またそれにとらわれない交流をこれからも続けたいと思いました。今回の交流は平和への考えをより深め、視野を広げる貴重な機会になりました。これからも積極的に活動を展開させていきたいと思っています。



活水高等学校 永石菜々子さん

▶ 追悼平和祈念館見学



▶ 平和公園見学



▶ 活水高等学校平和学習部と交流



# アジア

## 青年平和交流事業



長崎の若者が平和に関する企画を立案し、アイデアを重ねて実施！  
「自分たちが考えるアジアの若者同士の国際・平和交流プログラム」とは…

3月6日、当協会の平和推進事業として認定された4チームに、今までの取り組みの成果を報告してもらいました。長崎県内の高校・大学生が自ら企画した事業は、若者らしい自由な発想が盛り込まれており、それぞれの手法で説得力のあるプレゼンテーションになりました。また、お互いの取り組みについても活発に意見交換が繰り返され、4チームが連携すると、幅広い取り組みができるのではないかとという意見も出され、今後の活動も期待できる報告会になりました。

### 長崎外国語大学 国際交流プロジェクト



過去3年間の「食」をテーマにした活動を引き継ぎ、今年は留学生等と伝統料理を作りながら異文化交流を行いました。また平和に関する意見交換も行い、相互理解を深めました。

### 長崎大学 Peacestory JPN



長崎の学生と中国・韓国の留学生による東アジアの「平和提言」の発表と、新たな取り組みに向けたワークショップを開催。フィルムを貼った窓に考えを記入し、意見をまとめました。

### 長崎県立大学 金村研究室 (ゼミ)



ツイッターなどで集めた252枚の「自分が幸せを感じる瞬間」の写真を使い、モザイクアートを作成しました。この企画を通して「日常生活にこそ平和がある」ことを伝えました。

### 活水高等学校平和学習部 ふりそでプロジェクト



5年目となる今年は、故・松添博氏作「ふりそでの少女」を外国人学生と協力しながら4カ国語に翻訳しました。作業を通して原爆の非人道性を訴え、平和について考えました。

当協会では、会員の皆様に平和への思いをさらに強くしてもらい、当協会の活動を広く知ってもらうことを目的に、毎年「講演会」を開催しています。

平成27年度は、12月13日に、政治学者の姜尚中・東京大学名誉教授を迎え、講演をいただきました。講演では、長崎原爆を取り扱った映画「母と暮せば」のシーン、ヤルタ協定、水俣の有機水銀中毒、福島原発事故、核廃棄物の最終処分、食物連鎖など、広範多岐に渡る事件・事象を取り上げられました。その中で、「現世の間人は、個々人について言えば善良で良識ある人々であっても、ひとたび『国』や『金』が関わると『人間がやることじゃなかこと』をしでかす。その代表が長崎と広島の前爆投下だ。今こそ人間に引き戻す力がある。そのためには死者の言葉に耳を傾けなければならない。継承、伝承、伝統、連携、連帯の意味がそこにある」など、ハスキーボイスで淡々と参加者に語りかけました。会場満員の約650人の胸に深く訴えかける内容で、被爆70周年にふさわしい講演会となりました。

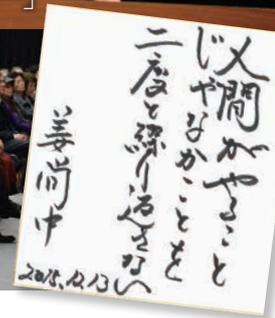
### 協会設立記念事業

カンサンジュン

## 姜尚中氏講演会



「ナガサキとフクシマの間  
—核なき世界を求めて—」



## ホームページがリニューアル!

3月1日より、当協会のホームページがリニューアルしました。被爆体験講話や平和案内人の申込方法、貸出DVD、貸出パネルも分かりやすくご覧になれます。また、書籍・グッズのインターネット販売のページも新しくなりました。グッズのみの注文の場合はレターパックでの配送も可能になり、送料面でも利用しやすくなりました。ぜひご覧ください。

<http://www.peace-wing-n.or.jp/>

ピースウィング長崎



## 「会員の広場」にお便りをお寄せください!

当協会では、会員の皆様からのお便りを募集します。会報をご覧になっての意見、感想、お便りなど、皆様の声をお寄せください。投稿いただいたお便りは、広報委員会を経て、「会員の広場」で会報「へいわ」に掲載させていただきます。



E-mail アドレス : [info@peace-wing-n.or.jp](mailto:info@peace-wing-n.or.jp)

〒852-8117 長崎市平野町7-8 (公財) 長崎平和推進協会「会員の広場」係

\*投稿は、200字以内でお願いします。また、匿名の投稿は、ご遠慮ください。

当協会では、朝鮮民主主義人民共和国が、4回目の核実験で水爆実験を実施したとの報道を受け、1月7日に抗議文を送付しました。

### 抗議文

朝鮮民主主義人民共和国  
国防委員会第一委員長  
金正恩 閣下  
公益財団法人長崎平和推進協会  
理事長 横瀬昭幸

貴国が、自制を促す国際世論を無視して4回目の核実験で水爆実験を強行したことに対し、核兵器による惨禍を経験し、長年に渡り核兵器廃絶を訴えてきた長崎の被爆者や市民は、自らを冒瀆された悲しみとともに強い憤りと危機感を覚えます。貴国が核抑止に固執して行う核兵器開発の一連の行為は、我が国はもとより、東アジア及び国際社会全体の平和と安全を著しく脅かす愚行であります。まさに、核兵器廃絶への道筋を見出そうと努力を重ねている国際社会を脅迫するような所業であります。したがって、私どもは絶対に容認することはできません。ここに、被爆地長崎で核兵器廃絶・世界恒久平和を目的に活動している「公益財団法人長崎平和推進協会」の理事長として、今回の核実験へ厳重に抗議し、貴国が核兵器の開発を即刻中止することを要求します。

### 世界の核弾頭の数 (2015年6月1日現在)

ロシア	米国	フランス	中国	英国	イスラエル	パキスタン	インド	北朝鮮	合計
~7,500	~7,200	300	250	215	80	100~120	90~110	<10	~15,700

長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)提供 <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

### 会員数報告

◎維持会員 1105人  
◎賛助会員 144人  
◎学生会員 11人  
(平成28年3月23日現在)

### 寄付者紹介

ありがとうございます

◎釜山国際親善協会 (敬称略) 一万円  
◎村田 幾代 一万円  
◎匿名 二万円  
◎匿名 九千五百六十三円  
◎匿名 四千元  
◎匿名 二千元  
◎匿名 二千元  
◎匿名 二千元  
◎匿名 千円  
◎匿名 千円

### 会費納入のお願い

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。まもなく平成28年度会費の振り込み用紙をお送りしますので、最寄りの郵便局で納入くださいますようお願いいたします。